

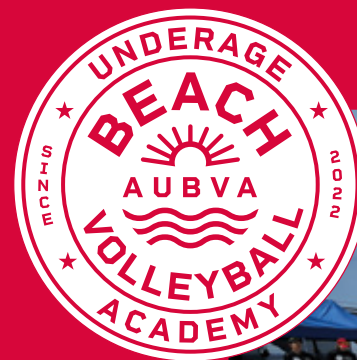


vol.9

AICHI

●愛知 / 碧南市
碧南緑地ビーチコート

コート6面ということに伴い、講師も過去最多の7名で進行。地元を代表するトップ選手である関寛之、詫間悠も講師を務めた。「講師によるいろいろな教え方やメニューがある。自分たち自身も教え方を学び吸収し、今後の指導に活かしていきたい」と話した。



AKTIO

UNDERAGE BEACH VOLLEYBALL ACADEMY

vol.8~11

レポート



2025年で4年目を迎えた「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」は、今年度から年4回の開催となった。開催数だけでなく、イベント内容も徐々に厚みを増している。
撮影 / 依田裕章、田中朝彬(埼玉)

ビーチバレーボールに取り組む中・高校生を応援!

「AKTIOアンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」開催

2025年春に行われた碧南ステージでは、過去最多となるコート6面を使用。春休みということもあり120名が参加し、碧南緑地ビーチコートがレッドに染まった。小浜ステージでは荒天が予想されたため、ビーチコートと体育館を保有する若狭東高へ場所を変更。両方の指導が受けられる準備を進めていたが、当日あいにく雨は止まらなかったため、アカデミー初の体育館開催となった。講師においても、新顔が増えた。さいたまステージでは地元出身の高橋巧がこのアカデミーで初めて講師を務めた。「自分の地元でがんばっている学生にビーチバレーを教え、少しずつ上達していく姿を見て、感慨深いものがあった。プロの選手として活躍している姿をこれからも見せられるように頑張っていこうと改めて感じた」と振り返った。青森ステージでは、立谷純太郎、詫間悠が2人でメイン講師を務めた。詫間は「できなくても、まずはやってみる」をテーマに置き、取り組みました。メイン講師の経験は貴重ですし、参加した学生たちがとにかく真剣に楽しくプレーをしてくれたことが印象的でした」と感想を述べた。ビーチバレーにかかわる人々を笑顔にさせる「アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」は、今後も全国各地で開催を予定している。

vol.10

FUKUI

●福井 / 小浜市 若狭東高校

メイン講師を務める村上めぐみの出身地での開催。体育館で取り組んだメニューは「フォームやボールのコントロールが中心」。ビーチでの経験が少ない参加選手たちでも、ビーチ特有の技術や動きをしっかりと実践していた。



vol.11

AOMORI

●青森 / 八戸市 白浜海水浴場

地元・東北の立谷純太郎と詫間悠、若手トップ選手の2名が初の講師を務めた。運営側は参加者アンケートも実施。回答率は過半数を超え、「なぜ、そうしなければいけないか、理由を説明してくれたよかった」「お手本がわかりやすかった」などの回答が多数あった。



イベントの写真や動画はこちらで更新中!!

aubva2022 AUBVA2022

vol.8

SAITAMA

●埼玉 / 越谷市
しらこぼと水上公園ホワイトビーチ

木々の紅葉に囲まれた秋のホワイトビーチで初の一般公募による開催。埼玉だけではなく群馬や栃木からも数多くの選手が集まり、70名が参加した。講師の高橋巧は現役トップランカーとしてジャンプサーブを始め、お手本となるハイレベルなプレーを披露した。

